

統計調査等業務の業務・システム最適化計画の改定方針について

平成 25 年 3 月 22 日
統計調査等業務最適化推進協議会決定

「統計調査等業務の業務・システム最適化計画」（平成 18 年 3 月 31 日 CIO 連絡会議決定）については、主要施策方針に基づく取組及び情報通信技術環境の変化への対応に係る検討、並びにこれまでの最適化の取組に係る評価を踏まえ、平成 25 年に行う各府省情報化統括責任者（CIO）連絡会議における改定を目指す。改定に当たっては、以下の事項を追加するなど必要な見直しを行い、平成 25 年度までとなっている現行の工程に 26 年度から 30 年度までの工程を追加する。

I 主要施策方針に基づく取組

「電子行政オープンデータ戦略」（平成 24 年 7 月 4 日高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT 戦略本部）決定）の基本原則に基づく公共データ活用の促進に資するため、「クラウドテストベッドコンソーシアム」における実証実験等ⁱの結果などを踏まえ、政府統計共同利用システムの統計情報データベースに蓄積されている統計情報等について、平成 26 年度に API 機能を用いた提供サービスを開始する。

II 情報通信技術環境の変化への対応

スマートフォン、タブレット端末等の普及に伴いインターネットへのアクセス方法が多様化していることを踏まえ、平成 28 年度にオンライン調査における電子調査票入力端末の多様化に対応するための環境を整備する。

III その他

1. 政府統計共同利用システムについては、上記 I、II の取組を効率的・効果的に実施するために必要となる機能を実装する。また、平成 29 年 12 月までに、システムのライフサイクルに応じた機器の更新を行う。
2. これまでの最適化の実施事項については、基本的に、既に発現している効果の維持に努め、国民の利便性向上を含めた費用対効果の観点から必要となる見直しを行った上で、継続的に実施する。

ⁱ 「電子行政オープンデータ戦略」に基づく公共データ活用の促進と環境整備における具体的な取組として、独立行政法人情報通信研究機構、独立行政法人統計センター、民間企業等からなる「クラウドテストベッドコンソーシアム」（平成 23 年 12 月設立）において、新たなクラウドサービスの開発を通じて機械判読可能な統計情報の提供方法等に関する実証実験等を実施